

校長通信 その2

分散登校が急遽中止となったため、担任の先生に連絡を取った上で教室に置いてある荷物を取りに来る生徒が時々います。(同様の人がいたら担任・副担任の先生に連絡を取ってみてください。担任も副担任も学校に不在であれば教頭先生に連絡してください。)先日、荷物を取りに来た3年生と少し言葉を交わす機会がありました。

その生徒は、「今は時間があるから普段ではできない学習に色々取り組んでいます」と話してくれ、その一つとして、英語によるスピーチの視聴を挙げてくれました。「他言語で自分の意見を発信することは、自分を外から見直す良い機会になるので良いなと思います」。その言葉に強い共感を覚えました。他言語と母語との交換(いわゆる「訳す」という行為)は、単語や文法の知識だけに頼ると非常に困難であることは皆さんも経験済みだと思います。自分自身の経験や価値観は一旦脇に置いて、自分がまだ知らない感情や考え方、文化があると気付くこと、つまり「私は知らない」ということを

認め、その未知の価値観や文化を受け入れようと心を開くことは、外国語習得(あるいはもしかしたら全ての学び)の第一歩であると考えています。したがって、「他言語で」自分の意見を発信することは、アウトプット作業であると同時に、異文化の視点を持って自分を見直すことにつながるという上記の3年生の思いが腑に落ちたのです。3月18日付の英語科による「リスニング学習法」でTEDが紹介されていました。他者のスピーチから学び、この臨時休業中に1つでも英語によるスピーチ原稿を作成してみると、この「外から自分を見直す」感覚を実体験できるかもしれません。ぜひトライしてみてください。ところで、同じく荷物を取りに来たある2年生は、朝・昼・夜と1日10時間は学習に取り組んでいますと話してくれました。朝いつも通りに起きて制服に着替えて学習に取り組んでいる生徒がいるという話も耳に入っています。皆が頑張っていることがとても嬉しく、早く学校を再開して皆さんの頑張りに応えたい気持ちで少々焦っていますが、やはり今は安全第一、もう暫く我慢の時を過ごしてください。寒い冬を越した桜が毎年一生懸命花を咲かせるように、必ず今の状況は収束し、皆の我慢と努力が花開く時がきます。

さて、この校長通信に載せている写真は、すべて学校の中の風景を切り取ったものです。2、3年生の皆さんは、どこの写真であるかすぐにわかると思います。1年生の皆さんで「どこだろう」と思った人は、学校再開後に探してみてください。



今日のひと言：I seem to be a little wiser than this man at any rate, in that what I do not know I do not think I know either.

* Plato's "The Apology" (ソクラテスの弁明) より。原典は古代ギリシャ語の本です。様々な英訳がなされていますが、難解なので、少し易しく書き換えてみました。日本語でしばしば「無知の知」と表現される箇所です。和訳にチャレンジすると同時に、ぜひ本を読んでみてください。